春日井市の浸水区域

庄内川

【作成主体】 国土交通省中部地方整備局
庄内川河川事務所

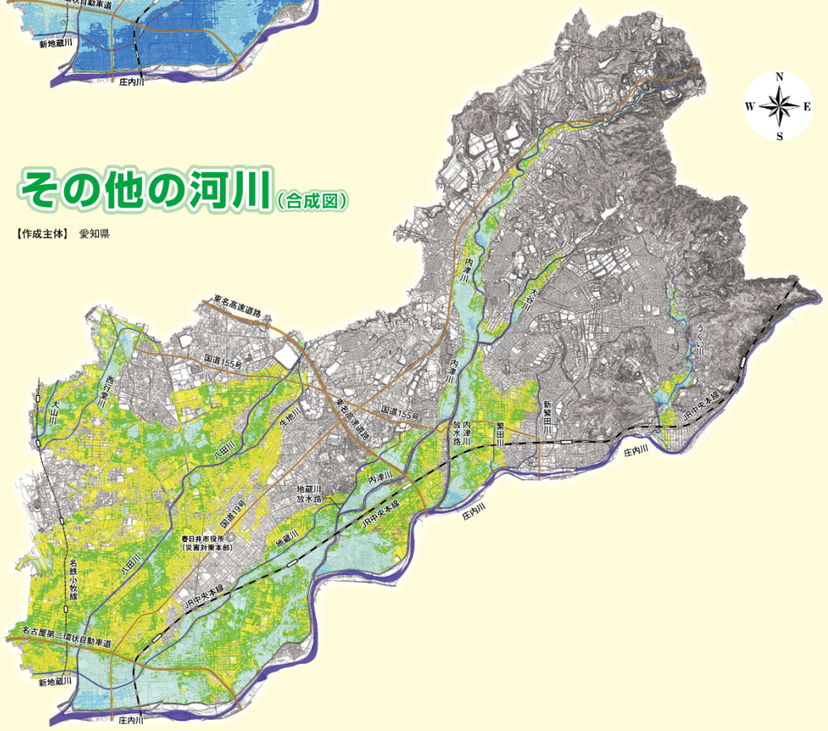
過去の浸水被害

平成3年9月19日　台風18号による水害（内津川の決壊）

平成23年9月20日　台風15号による水害（河川の越水）

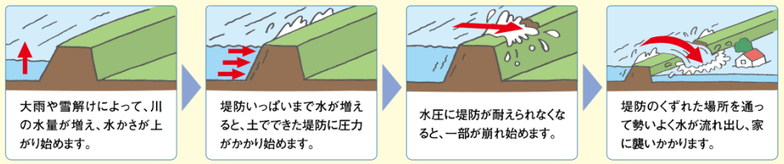
その他の河川（合成図）

【作成主体】 愛知県



洪水についての基礎知識

外水氾濫
（堤防の決壊）



大雨や雪解けによって、川の水量が増え、水かさが上がり始めます。

堤防いっぱいまで水が増えると、土でできた堤防に圧力がかかり始めます。

水圧に堤防が耐えられなくなると、一部が崩れ始めます。

堤防のくずれた場所を通って勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。

情報の収集方法を確認しよう

災害時に必要な情報は、テレビ、ラジオ、春日井市の広報やSNS、民間の防災アプリなどから入手することができます。

春日井市
安全安心情報ネットワーク

春日井市
緊急情報X

【防災アプリの例】
Yahoo! 防災速報
iPhone　Android

必要な登録は事前に済ませておこう

水害に備えよう

日ごろの備え、身近な場所をチェックして危険性を確認しましょう

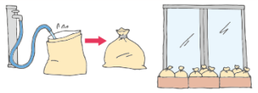
- □ 側溝や雨水ますのつまりをチェック!
- □ 避難経路の浸水の危険性をチェック!
- □ 地下やくぼ地などの周囲より低い場所をチェック!

身近なものを使ってできる水防対策

ごく浅い水深（10cm程度）であれば、家の中にある身近なものを使って、浸水を軽減させることができます。

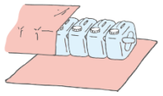
ごみ袋（簡易型水のう）と段ボールを利用

45ℓ程度の容量のごみ袋を二重にします。中に水を半分程度入れて口をしっかり閉めます。これを段ボールに入れ、出入り口などにすき間なく並べて使用します。



ポリタンクとレジャーシートを利用

10ℓ～20ℓのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。



プランターとレジャーシートを利用

土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

非常時に必要なもの（日ごろからできる備え）

背負える袋などに入れておけば、両手が使えて便利です。また、移動できる程度の重さに整理しましょう。

非常持ち出し品を準備しましょう!

家族3日分の食料・飲料水	ホイッスル（呼子笛）	防寒具
貯金通帳・印鑑・現金（小銭）	携帯電話及びモバイルバッテリー・充電器	予備メガネ・コンタクトレンズ洗浄液
ヘルメット・防災ずきん・運動靴		
健康保険証・運転免許証・権利証書・マイナンバーカード	作業用手袋（革手袋）・防塵マスク	ティッシュ・ウエットティッシュ
	救急薬品・常備薬・処方箋のコピー	マスク
ラジオ兼ライト（予備電池）		体温計
本人・家族の写真（最新のもの）	ナイフ・缶切り・マッチ・ライター	アルコール消毒液など
筆記用具（油性ペンを含む）	衛生用品（歯磨き用具等）・生理用品	
毛布・寝袋・簡易ブランケット	タオル・下着類・衣服	

家族に合わせた準備をしましょう!

高齢者がいる家族	妊婦・乳幼児がいる家族	
食料品類（ゼリードリンクなど）	母子健康手帳（保険証（コピー）、診察券などを挟んで保管するとよい）	調整粉乳
おむつ・紙パンツなど		プラスチック製哺乳瓶・哺乳瓶消毒剤
装具の予備（つえなど）	診察券	
持病等の薬	お薬手帳	紙コップ
お薬手帳	生理用品	子ども用歯ブラシ
口腔洗浄液・入れ歯洗浄剤	飲料水（乳幼児用も含む）	紙オムツ・おしりふき
身近な人の連絡先	清潔なタオルやガーゼのハンカチ	抱っこひも
自身の身元を記入したもの	消毒用アルコール	子ども用の薬
	妊婦：脱脂綿	お気に入りのおもちゃ
	ガーゼ・さらし	おやつ
	新生児用品	名札など
	マタニティマーク	離乳食・専用スプーン
	分娩準備品（出産が近い人）	足に固定できる靴（歩ける場合）

ローリングストック（循環備蓄）を忘れずに

ローリングストック（循環備蓄）とは、食料・飲料水などを保存期限が切れる前に使い、新たに買い足して、常に一定量を備えることです。

定期的に古い備蓄から使うことで、無駄を出さず、いざという時に期限切れで使えなくなることを防ぎます。

あなたの避難行動

水平避難の注意点

動きやすく安全な服装で

ヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、靴はひもで締められる運動靴を履きましょう。はだしや長靴は厳禁です。

歩ける深さ

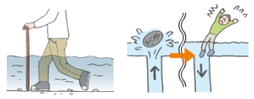
歩ける水の深さは男性で約70cm、女性で約50cmです。水が腰まである場合は、高い所に避難して救援を待ちましょう。

ロープにつながって

はぐれないようにお互いの体をロープで結んで避難しましょう。特に子どもから目を離さないようにしましょう。

足元に注意を

水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所が隠れています。長い棒をつえ代わりにして、確認しながら歩きましょう。

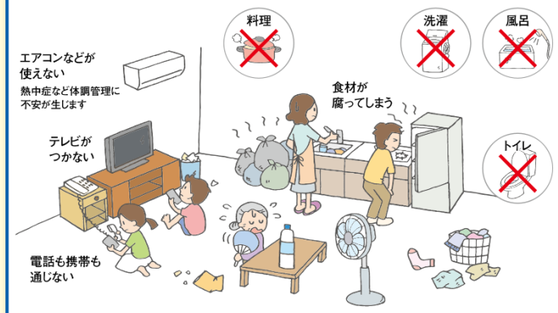


子どもやお年寄りを安全に

お年寄りや身体の不自由な人などは背負い、幼児は浮き袋、乳児はベビーバスを利用して安全を確保しましょう。

垂直避難・避難をしなかった場合の注意点

- 水・食料等がなくなる
- トイレの使用、ごみ捨て等が出来ず、環境が悪化する
- 停電等により情報を得られない
- エレベーターが止まり階段での移動が必要
- 水・食料等の調達がしにくい



水平避難と垂直避難

災害が迫った時、置かれた状況は一人ひとり異なります。それぞれが自ら判断し適切な行動を取らなければなりません。

危険が切迫している場合は指定避難所等や親せき（知人）宅への移動（水平避難）だけではなく命を守る行動が必要になることもあります。

たとえば
①夜間の避難や豪雨の中の避難等では危険箇所がわかりにくい
②膝上まで浸水している
③膝下までの浸水であるが流れが速い

このような場合は屋外への避難は危険です。建物損壊の危険がなければ自宅や近隣の頑丈な建物の上の階などへ避難（垂直避難）し救助を待つことも検討してください。

あなたの安否を伝えましょう　～災害用伝言サービス「171」～

電話で　《被災地が春日井市の場合》

災害用伝言ダイヤル（171）
電話で録音・再生できる声の伝言板

171にダイヤル
↓
ガイダンスが流れます
↓
録音は1　再生は2
↓
ガイダンスが流れます
↓
0568－□□□－□□□□
□□□－□□□□－□□□□
↓
ガイダンスが流れます
↓
録音または再生

インターネットで

災害用伝言板（web171）
パソコンなどから、インターネットで安否確認ができる伝言板

下記アドレスへアクセス、または web171 検索
https://www.web171.jp/
↓
伝言板の登録・更新・削除 をクリック

画面の指示に従い、電話番号や伝言などを登録・更新・削除できます。
※携帯電話などの電話番号も登録できます。

詳しくはNTT西日本ホームページをご覧ください。
https://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/

その他、携帯電話各社の伝言板もご利用ください。

※家族などで利用するサービスを決めておきましょう